谷地高校三年生の皆様へ

谷地高校の皆様こんにちは、お久しぶりです。三年一組に入らせていただきました台湾留学生の優です。残念ながら、一年間の留学生活はコロナウイルス感染拡大のために予定より二ヶ月も早めに帰国となりました。日本での生活は楽しくてもう台湾に帰りたくないと思っていたところに、帰国要請が来ました。悲しかったけれども、この九ヶ月間の毎日は皆様のおかげで、充実していて楽しい日々でした。初めて来たこの土地で、皆さんのやさしさに包まれた私は、まるで昔からここにいたような気がしました。学校に行く前夜、正直すごく緊張していてどう思われるのかと思いながら私は眠れない夜と朝を迎えました。谷地高校での初日、色々気になりすぎて私はみんなからの厚意に上手く反応できず申し訳なく思っていました。でも、ホントはとてもとても嬉しかったのです。新しい学校生活を楽しみにしていました。そして、色んな方々にお世話になっていて仲良くしてくださった子もいて、心から感謝を申し上げます。ありがとう、自分はどれだけ幸せだったでしょう。

台湾に帰って、二週間程、自宅隔離を強制されていて部屋から出られない状態でした。部屋ではお片付けしか出来ませんでした。本棚に置いてあった多数の日本の教科書をみて、複雑な思いがいっぱい。最初のうちはナルトが好きで字幕なしで内容を分かるようになりたかっただけなのに、日本語と出会ってからいつの間にか七年目も迎えました。もう少しで人生の半分ですね。(笑)

中学の頃に私は日本への憧れを持ち始めました。小学校みたいな日本語を分かるようになりたいだけではなくて、いつか日本に住んでみたいと思うようになりました。そして私は頑張って色々な検定や試験を受けて、政府機関もしくは社会連合団体のプログラムに入ろうとし、ようやく高校の最後で交換留学の機会を得ました。正直に言うと、ウイルスの感染拡大が始まってから私は心配でほとんど毎日眠れなかったです。やはり最後まで残ることができず帰国してしまいました。悲しくて堪えられない時もありました。六年も頑張れるなら何かできないことある？と、私は以前よりも少し前向きに自分と向き合うことができました。

ここまで読んでくださって本当に感謝です

最後に、一言を：『悩んだり落ち込んだりするのもよし。その分きっと何かが得られるから。』

私はこの言葉に何度も救われて励まされましたので、もしこれがいま未来を悩んでる三年生のみんなに少しでもお役に立てれば幸いです。

8ヶ月間、大変お世話になりました。ありがとうございます。また山形に帰ってきますので、よろしくお願いいたします！

ではまた

☻2020.05

優・施云筑　より